



9.17(土)～9.19(月)・祝 第76回 全国レクリエーション大会 2022 ひょうご

白鷺の地から広げよう! レクの楽しさ・交流・笑顔

3年ぶりの開催となった全国レクリエーション大会。
兵庫県レクリエーション協会をはじめとする実行委員会が、
この日のために時間をかけて企画した3日間をレポートします！



彬子女王殿下のご臨席を仰ぎ、兵庫県姫路市を中心に開催された第76回全国レクリエーション大会 2022 ひょうご。

新型コロナウイルスや日本を縦断した台風の影響を受けて一部のプログラムが中止・変更となったものの、全国から約1万人が元気に大会に参加されました。各種目・イベント・セッションでは笑顔と熱気が溢れ、全国の仲間との再会を喜ぶ様子は、この大会が再び未来に続いていくことを実感させてくれました。







開 会 式



不安を吹き飛ばす
熱気溢れる開会式が
行われました！

9月17日、約3年ぶりの全国レクリエーション大会が兵庫県にて開催されました。本来なら2020年に開催されるはずだった本大会。新型コロナウイルスの影響によって延期の末にようやく開会できることになり、喜びもひとしおです。しかしながら、その喜びに水を差すように、今度は台風が日本を縦断するのではないかという状況でしたが、そんな不安を吹き飛ばしてくれたのが、開会式に参加してくださった約600人の皆さんの笑顔。受付会場に続々と入ってこられる様子に、お迎えする実行委員会の皆さんの笑顔も弾け、活気に満ちていました。

約2000人収容可能な大ホールでの開会式は、おもてなしのジャズ演奏からスタート。演奏してくれたのは、映画『スウィングガールズ』のモデルとして知られる兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部の皆さん。

プロ顔負けの軽快な演奏で盛り上げてくれました。さらに今回は大会名誉総裁である三笠宮妃百合子殿下のお孫様である彬子女王殿下にご臨席を仰ぐとともにお言葉(左頁参照)として激励を賜わり、参加者の本大会にかける思い、レクリエーションへの思いも一段と強くなりました。また、コロナ対策の一環として、「レクリエーション運動普及振興功労者表彰」は客席でご起立いただき、壇上のスクリーンに映し出す方式が取られました。

第二部のアトラクションでは、来年創団70周年を迎える姫路市民合唱団の皆さんの美しい歌声による「赤とんぼ」「翼をください」の合唱、兵庫県の重要無形民俗文化財に指定され、地域の秋祭りなどで継承されている「大塩天満宮中之丁獅子舞」の大迫力のステージが披露されました。

コロナ禍、台風と不安の中での開催でしたが、そんなことも忘れさせてくれる素晴らしい開会式となりました。





2022.9.17 第76回全国レクリエーション大会 2022 ひょうご 彬子女王殿下お言葉

本日ここに第76回全国レクリエーション大会 2022 ひょうごが開催されますことを大変嬉しく思います。レクリエーション大会は、三笠宮家、親子三代にわたってご縁をいただいております大会です。祖父にあたります三笠宮殿下、そして父がレクリエーション協会総裁をお務めになり、度々大会にお出ましになりました。

三笠宮殿下は戦後まもない昭和24年、札幌で開催された宮様スキー大会にお成りになった際、GHQ民間情報教育局の教官であったウィンフィールド・ニプロの主催のパーティにおいて、スクエアダンスに初めてお触れになりました。パートナーの女性の真似をして踊られていたので、ずっと女性のパートを踊っていたことがわかり、後から赤面されたそうです。

その後、世界が一つにならなければいけないあの時代には、老いも若きも世界の全ての人たちが喜んで飛び出して踊れるものがなくてはならないとお考えになり、スクエアダンスを本気で勉強され始めたのだといえます。

ニプロからスクエアダンスを初めて学ばれた翌昭和25年、帯広で開催された第4回レクリエーション大会に大会総裁として初めてご臨席。翌年、レクリエーション協会総裁にご就任されました。以降、ニプロとともに殿下がレクリエーション協会の活動を通して、スクエアダンスやフォークダンスを全国各地で自ら参加者の手を取って指導されたことにより、フォークダンスが全国的に広まることになるのです。

殿下は総裁にご就任されてから、平成2年に名誉総裁におなりになるまでほとんど毎年、レクリエーション大会にお出ましになり、開会式でお言葉を述べられ、参加者を激励されました。その大会が殿下の初めてのお成りから70年以上の長きにわたり歴史を紡いできたこと。そして、このように大きな大会に発展したことをどれだけお喜びかと思えます。父もまた殿下から総裁職を引き継がれてから、度々大会には足を運ばれ、お正月に宮家にご挨拶にこられる協会の方とお楽しそうにお酒を酌み交わしておられたお姿が思い出されます。三笠宮家とゆかりある大会にこうして関わらせていただきますことを大変嬉しく思っております。

三笠宮殿下がフォークダンスを、そしてレクリエーション運動を日本に広められたのは身分の別なく全ての人たちと手を取り合って踊ることのできる穏やかで戦争のない国をつくり、そして世界平和を実現するためだったと私は考えております。

新型コロナウイルスの流行やロシアのウクライナ侵攻など、世界的に不安のある時代ではありますが、だからこそ、レクリエーション活動の意義が問われてくるのではないのでしょうか。参加者の皆様には、殿下の言われた皆で手を取り合って踊る喜びの意味に今一度、思いをいたし、レクリエーションの大切さを日本へ、そして世界へと伝えていただけますことを祈りながら、私よりのご挨拶といたします。